

平成26年度和歌山市立河西中学校 全国学力・学習状況調査結果の概要と取り組み

調査内容 (1) 実施日 平成26年4月22日(火) (2) 対象 第3学年 6学級 197人

全国学力学習状況調査結果は、国語・数学ともに「知識に関する問題を主としたA問題と「活用」に関する問題を主としたB問題の2つがあります。A問題、B問題ともに国語は、「話すこと、聞くこと」「書くこと」「読むこと」の3領域と「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」の1事項に、数学は、「数と式」「図形」「関数」「資料の活用」の4領域に設問ごとに分かれています。

教科調査結果の分析より

○…良い状況と考えられる。 △…課題があると考えられる。

《国語科の傾向》

○A問題では、「読むこと」で平均正答率の県平均との差が0.7ポイントと小さく、設問によっては県や全国平均を上回っています。

△A問題では、「話すこと・聞くこと」と「書くこと」では、全国平均を下回っており、B問題でも「書くこと」が特に課題となっています。……………【課題1】

《数学科の傾向》

○A問題の「数と式」では、県及び全国平均との差が小さいと言えます。

○A・B問題ともに「図形」で県及び全国平均に近い結果の設問があります。

△しかし、「図形」「関数」「資料の活用」では、A・B問題ともに県及び全国平均を下回っており、「資料の活用」が特に課題となっています。……………【課題2】

全国学力・学習状況調査では、国語・数学の学力調査のほか、生徒質問紙による調査があります。この質問紙調査では、生徒の学校や家庭における学習状況や生活状況、学校での指導の様子が分かります。

《質問紙調査の傾向》

○本校の生徒は、「数学の勉強が好き」と回答した割合が全国平均を5ポイント以上も上回り、「数学の勉強が大切」「数学の授業内容がよく分かる」と回答した生徒も全国平均を上回り、他の数学に関する設問も全国平均並みで、数学に対する意識が高いと考えています。

△しかし、国語の勉強は、余り好きではなく国語の勉強を大切に思う生徒も全国平均を下回り、自分の考えを書くとき考えの理由付けをして書く生徒が少ないなど「書くこと」に対する意識が低いことが課題となっています。……………【課題1】

△「総合的な学習の時間」に自分で課題を立て情報を集め整理して調べたことを発信する学習活動に取り組む割合や、本やインターネットを使ってグループで調べる活動をよく行っていたと回答している生徒の割合が低く、指導が十分できていないことが課題です。……………【課題3】

○朝食を毎朝食べている生徒は90%を超え、就寝・起床時間が決まっている生徒の割合も高く、

規則正しい生活ができている生徒が多いと言えます。

○平日（月～金）の学習時間は、2時間以上する生徒は県や全国平均を少し上回っています。

△しかし、平日（月～金）全くしない者も11%あります。

△テレビ等を1日に3時間以上見る生徒の割合は42%近く、ゲームを1日3時間以上する生徒の割合が33%、また、携帯電話やスマートフォンでの通話・メールを3時間以上する生徒が33.5%といずれも県や全国平均を大きく上回っています。……………【課題4】

調査結果を受けて本校が今後、取り組んでいくこと

【課題1】「書くこと」解決のために

伝えたい事柄を明確にして、分かりやすく書く指導の工夫

・行事や職場体験などの体験を、伝えたい事柄を整理して分かりやすい文章を書く場面を設定し、目的や相手に応じて、取り上げる内容、それらを示す順番などを考えながら、文章を整えて適切に書くことができるように指導していきます。

【課題2】①「関数」解決のために

関数の意味を理解し、関数関係を見出したり、関数を判断したりする活動の重視

・様々な事象の中2つの x 、 y について、 y が x の関数であるかどうかを見出すために、具体的な数を x に当てはめて、 y が一意に決まるかどうかを確かめる活動を重視して指導していきます。

②「図形」解決のために

証明の方針を立て、その方針に基づいて証明する活動の充実

・証明の方針を立てるために、結論を導くためには何がわかればよいかを明らかにし、着目すべき図形を指摘したり、性質や関係を見出したりできるように指導していきます。

③「資料の活用」解決のために

相対度数の必要性和意味を理解し、資料の傾向を読み取る活動の重視

・相対度数の必要性和意味についての理解を深められるようにするために、度数分布表やヒストグラムに基づき、ある階級の度数が総度数に占める割合を求め、その割合を用いて資料の傾向を読み取る事ができるように指導していきます。

【課題3】総合的な学習の時間の取組

・総合的な学習の時間において、生徒が自分で課題を立てて情報を集め、整理して、調べたことを発表する学習活動に取り組んでいきます。

【課題4】家庭への働きかけ

・生徒個人が家庭学習を意図的・計画的に実施し、家庭学習の習慣が定着するよう、勉強する時間やテレビやゲーム、携帯電話やスマートフォンを使う時間などのルールを決めるなどして、取り組むよう家庭・保護者に働きかけていきます。